

自然教育園散策と北里大学総合研究所資料展示室見学会

催行日：平成 30 年 6 月 16 日（土）

毎日天気予報は雨雨雨、金曜日が曇りになっても日曜日が曇りになっても、土曜日は雨の予報が続きました。目が覚めた時には雨の音がしていました。が、家を出るころには、傘をささなくても良いようになり、集合時間には雲は少し薄くなっていました。

高台の白金にある国立科学博物館附属自然教育園は、たっぷり水を吸った豊かな緑の植物が迎えてくれました。そして、最初に見た一本の木の、萩原先生のお話に、がちり心を掴まれてしまいました。下見に行った今年の冬は寒く、日陰には雪が、池には氷が張り、落葉樹は葉を落として、園内の見通しは良かったのですが、6 月のこの日は園内、ぎっしりの緑に、季節を深く感じさせられました。2 時間ではとてもとても足りませんでした。ここは入園料を払えば誰でも入れます。リピーターはかなりいるようでした。

昼食を挟んで、午後は北里大学東洋医学総合研究所の東洋医学資料展示室の見学です。昨年の講演会でお話をしてくださった緒方先生に、東洋医学の歴史の話し、館内の案内をしていただきました。丁寧なパネルの展示、医療器具、古典資料、そして生薬標本は、馴染みのあるものから、ちょっと気持ちの悪いゴキブリや、そして興味津々の竜骨まで、見事に並んでいました。こちらは病院の診療時間内、自由に見学することができます。先生の解説はつきませんが・・・。

どちらも多くの皆さんに足を運んでいただきたい場所です。

交流部 石川

